



MOROYAMA PHOTO SNAP NEWS

教育振興に活用させていただきます 多額の寄附をいただきました

毛呂山町教育委員会に勤務されていた故入江直美さんの遺志を継ぎ、ご子息である入江裕紀さんと平井和輝さんより、町に対して500万円の寄附をいただき、9月7日、町からお二人に感謝状を贈呈いたしました。ご寄附は毛呂山町の児童生徒を育成するための教育費として活用させていただきます。



広がれ地域の輪！

セブンイレブン移動販売が行われました



毛呂山町社会福祉協議会とセブンイレブン毛呂山埼玉医大南店が協同し、高齢者を中心とした買い物に困っている人や、地域のコミュニティづくりの一環として、9月から移動販売を開始しました。移動販売では、セブンイレブンで取り扱っている「食料品」や「日用品」など様々な商品を販売しています。なお、10月中は毎週木曜日（祝日を除く）に下記の時間、場所で販売を行う予定です。11月以降については、毛呂山町社会福祉協議会（☎295-3111）までお問い合わせ、または町ホームページをご覧ください。

時間	場所
午前10時～10時20分	岡本団地集会所前
午前10時35分～10時55分	第二団地ふるさと会館駐車場
午前11時10分～11時30分	角木団地自治会館向かい駐車場
午前11時45分～午後0時5分	毛呂山台自治会館前

避難所開設訓練の様子を 動画で見ることができます

新型コロナに対応した避難所開設訓練の実施

8月30日、総合公園体育館で避難所開設訓練が実施されました。新型コロナウイルス感染症の影響により、災害時の避難所のあり方が課題となっており、避難者はもちろんのこと、避難所の運営スタッフの感染も防止するため、避難所という密になりやすい空間の中で、感染防止策を徹底することが極めて重要です。この訓練の様子は、町公式YouTubeチャンネルでの配信や行政区等へDVDの配布をすることで町民の皆さんへの周知を図ります。



毛呂山町をめぐる旅

U字工事のお二人が毛呂山町で収録を行いました



9月上旬、お笑い芸人U字工事の益子^{ましこ}さんと福田さんが毛呂山町でテレビの収録を行い、「おたか」うどん屋さんや桂木展望台を訪れました。ゆずが練りこまれた「おたか」のうどんを食べたお二人は「さわやかでとても美味しい」と大絶賛していました。この様子は、10月26日(火)午後5時からNHKBSP「ザ・穴場ツアーCATVネットワーク」で放送されます。ぜひご覧ください。

10月は**4R**推進月間です!

“ごみ減量”のキーワードは「**4R**」

よんアール

毛呂山町では、全国的に推進されている**3R**（リデュース・リユース・リサイクル）に「Refuse（リフューズ）」を加え、**4R活動**を推進しています。国で定めた10月の3R推進月間にならない、10月を4R推進月間としています。一人ひとりがごみになるものをもらわないようにしたり、なるべくごみを出さないようにして、ごみの減量化やリサイクルにご協力をお願いします。

問合せ 役場生活環境課環境係 ☎295-2112内線171・172

Check! **リフューズ Refuse** 優先度1

【断る】 unnecessaryなものは断る。
もらわない。

- マイバッグを持ち歩きレジ袋（過剰包装など）は断りましょう
- マイボトルやマイ箸を活用しましょう
- 不要なおまけ（割り箸やストロー、本のカバーなど）は断りましょう
- 詰め替え用商品を利用して、ごみを減量しましょう
- 必要な量を購入・注文しましょう

Check! **リデュース Reduce** 優先度2

【減らす】 ごみを減らす。
出さない、作らない。

- 長く使える丈夫で愛着の持てるものを購入しましょう
- 料理は作り過ぎたり、注文し過ぎたりせず、食べ残さないようにしましょう
- レンタル用品を活用しましょう
- 生ごみは処理容器や電気式処理機を使って減量化・堆肥化に努めましょう

Check! **リユース Reuse** 優先度3

【再利用】 使えるものは、繰り返し使う。

- リターナブルびん（牛乳・ビール・お酒など）のものを選びましょう
- 使い捨てのものは買わないようにしましょう
- 壊れても修理やリフォームして、長く大切に使いましょう
- フリーマーケットやリサイクルショップを活用しましょう

Check! **リサイクル Recycle** 優先度4

【再生利用】 使えるものは、繰り返し使う。

- 分別ルールを守ってごみを出し、効率よくリサイクルできるように協力しましょう
- 再生材を使ったリサイクル製品を選んで購入するようにしましょう
- 不要になった携帯電話などの小型家電の回収に協力しましょう

家庭用生ごみ処理機器設置補助金をご活用ください



▶ 補助基準および補助金額

種類	基準	補助金額
生ごみ処理容器	<ul style="list-style-type: none"> • 有効容積が10リットル以上のもの • 臭気等の発散防止や雨水が流入しないように安全なふたがあるもの • 購入費が1,000円以上のもの • 購入後1年以内のもの 	購入費の10分の9以内の額で、1基につき10,000円が限度。 (1年度につき1世帯2基まで)
生ごみ処理機	<ul style="list-style-type: none"> • 生ごみの堆肥化または減量化を目的に製造された機械 	購入費の2分の1以内の額で、30,000円が限度。 (1年度につき1世帯1基まで)

※補助金の額に100円未満の端数があるときは、端数を切り捨てます。